リスクアセスメント 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道　南山管内維持修繕業務	作成者役名	中日本ハウウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工　期	令和6年4月1日　～　令和6年3月31日	作成者	中島 強太
作業名称	追越車線規制設置・撤去(車線規制B)	作成年月日	令和4年4月24日
	作業手順書	改定年月日	令和6年9月26日
使用機械 使用設備	規制用材運搬車1台、証明車材運搬車1台	現場責任者	
	標識車1台	現場監督者	
使用工具、機器	しらすんだ～、かっぱんで～棒、ハンマー	協力会社	
	落下防止ワイヤー、調べメト型安全帯、標識固定用ラチェット	協力会社責任者	協力会社責任者
保護具	ヘルメット、安全靴、調帽、マスク、手袋、非発光ベスト	作業員	作業員
材料	発煙筒　5分の6 or 30本　(夜用本数10本・予備10本)		1　基地（事務所）出発前
教育・資格・特別の教育・技能講習・安全衛生教育	自動車運転免許証・普通・中型免許		2　規制標識（予告）設置
	交通誘導警備業務2級以上		3　テーパー設置
作業人員	①規制運転者：運転手1名、作業員A：1名、作業員B：1名 ②証明車材運搬車：運転手1名		4　ラバーコーン設置
	③標識車：運転手1名（専用型機員）、交通誘導員1名（先陣誘導員）　合計　6名		5　ラバーコーン撤去
作業手順 周知安全 参加者 サイン （記録）	作業責任者(職長)： 現場会議日 令和4年4月30日		6　テーパー撤去
	作業員		7　規制標識（予告）撤去
			8　基地（事務所）帰宅

リスクの見積り			
	○：軽微	△：重症	×：極めて重大
	休業4日未満	休業4日以上	死亡・障害を伴う
可能性 1：ありうたに発生しない（5年に1回程度）	○○	○△	○×
2：発生可能性 1年に1回程度）	△○	△△	△×
3：かなり発生 （6ヶ月に1回程度）	×○	×△	××

組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
○○	1. 極めて小さい	現場責任に報告
○△、△○	2. かなりやさい	現場責任に対策の指示
○×、△△、×△	3. 中程度	職長が確認
△×、×△	4. かなり大きい	工事担当責任者が確認
××、××	5. 極めて大きい	十分に調査した対策が必要

リスクレベル　5＝十分に調査した対策が必要　4＝工事担当責任者が確認　3＝職長が確認　2＝現場責任に対策の指示　1＝現場責任に対策の指示

作業項目（「誰 が」）	手順 主なリスク	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し （予想されるミス・ロス）	可能性	重大性	評価	リスクレベル	リスクの低減・低減のための実施すべき事項の特定 （防止対策）
準備作業（全員）		作業員安全管理の実施状況及び作業前ミーティング実施状況 ・作業内容 ・事前点検・確認記録（作業機材の状態や経路 ・作業員の健康状態及び体調 ・三尺流交通誘導警備業・手元操作員の確認 ・3名以上の交通下請は7ヶ年、安全教育の確認 ・未教育従業員による教育実施の有無の確認（防護柵、標識類、TMC ・危険物(ガス)及び酸素用(ACM)の保管 ・ガス容器の保管 ・三尺流誘導警備業（専用型）の確認						
基地(事務所)出発前	作業人員の確認 **(4名体制)**	作業責任者の選出 **(1名)**	現場責任者の選出	○	△	△	3	現場責任者に報告
	規制運転者の人員確認 **(1名)**	運転手：1名	運転手：1名、作業員A：1名、作業員B：1名	○	△	△	3	現場責任者に報告
	証明車材運搬車の人員確認 **(1名)**	運転手：1名	運転手：1名	○	△	△	3	職長が確認
	標識車の人員確認 **(1名)**	運転手：1名	運転手：1名、交通誘導員：1名	○	△	△	3	工事担当責任者が確認
車両確認及び保安設備の確認	先頭車両（規制運搬車）	トラック保安灯の点灯確認、指下及び指差する	指下及び指差する	○	△	△	3	定常に実施するものの確認
	後続車両（標識車）	車両後部に、ライト、標識などの	車両後部に、ライト、標識などの	×	○	×○	3	車両点検の実施・確認
作業前ミーティング 現場安全管理の実施 （実施者が作業分担を確認）	規制標識類及び作業用具の確認	パックなどの車両運搬時、作業員と接触する	パックなどの車両運搬時、作業員と接触する	○	△	△	4	交通規制員は作業員と、先陣誘導灯を持ちて作業方向を確認
	先陣誘導警備員の安全確認	先陣誘導警備員の安全確認	先陣誘導警備員の安全確認	○	△	△	4	先陣誘導警備員は、ヘルメット等の確認に正常に作業するかの点検・確認実施
	電柱・標識類確認・作業機材の状態確認	電子機器の不動によりガイドが良	電子機器の不動によりガイドが良	△	△	△	3	車両動作確認（取扱有無、規制灯等の電子機器の点灯）
		規制標材規定不足による誘導員の不備	規制標材規定不足による誘導員の不備	△	△	△	3	規制標材の動作及び数量確認
		可変標識変更未設置に伴う状態不良	可変標識変更未設置に伴う状態不良	△	△	△	3	可変式表示変更標識規制標識と先陣誘導警備の確認
		コーン設置時、落下ワイヤー未設置による安全対策	コーン設置時、落下ワイヤー未設置による安全対策	×	×	×	5	安全ワイヤー落下防止ワイヤー、安全帯の確認
規制標識（予告）設置 （実施者が作業分担を確認）	作業員B及び作業前ミーティングにて確認	設置者が誤って設置する	設置者が誤って設置する	△	○	△○	2	事前調査による標識等の安全の具体的な確認 （回路線、概要図、TM）
		設置原点の位置に設置が出来ない	設置原点の位置に設置が出来ない	△	○	△○	2	規制前による設置指示（KY）の確認
規制標識（予告）撤去 （実施者が作業分担を確認）	規制用材の撤去	車両規制用材ガイドなどに、関係道者対する	設置道者が誤って撤去する	○	△	△	3	設置道者を現場に実施・道路名打ち
	作業前ミーティング	①一次交通誘導警備員：0558-76-1132） 2)制御指令室（ち：0558-81-2932） 3)直通電話 作業管理支援は高山対応						
	規制用材の撤去 **(4名体制)**	**規制用材の撤去は、作業員B・C・Dの3名で実施する**						
	作業員B・C・Dの撤去	作業員B・C・Dの撤去	作業員B・C・Dの撤去	○	△	△	3	作業員B・C・Dの撤去
	標識類の撤去	標識類の撤去	標識類の撤去	○	△	△	3	標識類の